

常任理事会レポート

(第241回)

【第241回常任理事会】

11月9日(金)、札幌グランドホテルにおいて、第241回常任理事会を開催しました。

以下の事項について審議が行われた結果、原案どおり承認され、続いて事務局からの報告事項の説明、情報交換の後、「未来投資戦略－『Society5.0』『データ駆動型社会』への変革－について」と題して、内閣官房 日本経済再生総合事務局 次長 佐藤 正之様による講話が行われました。なお、重要案件を諮る常任理事会には、理事にもオブザーバーとして参加いただいております、今回は22名の理事が出席されました。



○審議事項

1. 会員の入会について

○報告事項

1. 2019年度 北海道の施策および予算に関する要望
2. 2018年度 三経連からの要望 実施概要について
3. 主な活動状況

○意見交換

出席者からは、平成30年北海道胆振東部地震への対応として「ふっこう割」がスピーディーに実施されたことへの感謝の声や、その一方で「ふっこう割」終了後の需要減少を心配するなど様々な意見が寄せられました。

